



ら び っ く La·BOOK

1月号

No.31



新年あけまして おめでとうございます。
今年も どうぞご利用をお願いいたします。



中央図書館の講座

「もこもこひつじを作ろう！」

参加者募集！！

第4回図書館講座「もこもこひつじを作ろう！」の参加者を募集します。

羊毛フェルトを使って、2015年の干支「ひつじ」を親子で楽しくつくってみませんか。参加費は無料で、お子さんは小学生以上、親子2人1組として、10組の方にご参加いただけます。

もこもこふわふわのかわいいひつじに心もあったかになります。

- 日時 平成27年1月24日(土)
午前9時30分から
- 場所 穂高交流学習センター「みらい」内
グループ研究室
- 申込み方法等 お電話か窓口にて
安曇野市中央図書館 (Tel.84-0111)
期間 平成27年1月10日(土)～
受付時間 午前9時から午後5時まで
(定員になり次第締め切らせていただきます。)



中央図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

市指定有形文化財

有明山神社の神門について



有明山神社は、有明山をご神体とする、山岳信仰の神社である。

日光東照宮の陽明門に模して建てられた神門は、

しなのにつこうゆうめいもん
「信濃日光裕明門」(写真)

と呼ばれ、十二支や中国二十四孝物語(とうふじん かっきよ) (唐婦人・郭巨・老萊子ろうらいし・揚香ようこう)などの彫刻が付けられている。

天井は格天井で、小組の1つ宛の格天井には、村田香谷の晩年の大傑作という極彩色の動物絵で飾られており、すべてに技巧を極めた絢爛たる美術的建造物である。

施工の棟梁兼彫刻師は、清水虎吉。虎吉は1856年に松本市里山辺の酒造業大和八右衛門の次男として生まれ、少年期に彫刻家に心惹かれて立川流彫刻師を目指す。諏訪の立川専四郎富種の弟子となり、虎吉はそこで繊細流麗な技法を学ぶ。

縁あって清水姓となるも彫刻の道に徹し、社寺・屋台等の装飾彫刻で各地に作品を残した。

平成10年に、裕明門ならびに手水舎は穂高町文化財に指定され、安曇野市に合併後、平成20年10月29日に市の有形文化財に指定された。

<関係資料>

『立川流彫刻富種師弟作品集』坂下 与八著 2001年

『有明山神社』 有明山神社 1999年

『穂高町誌 第二巻 歴史編上・民俗編』

穂高町誌刊行会 1991年

HP “長野県の芸術・文化情報センター 公益財団法人 八十二文化財団”

<http://www.82bunka.or.jp/index.php>

12月貸出ランキング

一般書

- 1 虚ろな十字架／東野圭吾
- 2 夜明けの街で／東野圭吾
- 3 マスカレード・イブ／東野圭吾
- 〃 物語のおわり／湊かなえ
- 5 自覚／今野 敏
- 〃 シルバー川柳 4／全国有料老人ホーム協会
- 〃 親鸞 完結篇上／五木寛之
- 〃 親鸞 完結篇下／五木寛之
- 〃 満願／米澤穂信

児童書

- 1 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 2 かいけつゾロリの大金持ち／原ゆたか
- 〃 千と千尋の神隠し／宮崎 駿
- 〃 バムとケロのにちようび／島田ゆか
- 5 かいけつゾロリのきょうふのプレゼント／原ゆたか
- 〃 くだもの／平山和子
- 〃 だるまさんと／かがくいひろし
- 〃 ねずみくんのクリスマス／なかえよしを
- 〃 バムとケロのそらのたび／島田ゆか

AV資料

- 1 ハリー・ポッターと秘密の部屋／クリス・コロンバス監督
- 2 007/オクトパシー／ジョン・グレン監督
- 〃 岳／片山 修監督
- 〃 崖の上のポニョ／宮崎 駿監督
- 〃 最高の人生の見つけ方／ロブ・ライナー監督

堀金図書館から

本のソムリエ(職員) おすすめ本

一般書

『向田邦子の手料理』

講談社／編

作家として知られる向田邦子は、料理上手としても有名。そんな向田邦子の手料理を知ることのできるこの本は、出版から25年、ず〜っと愛され続けています。

簡単で美味しく出来て、若い方から年配の方まで

幅広く使える本です。ぜひ一読を！

表紙

児童書

『しーっ!』

クリス・ホートン作 木坂涼訳／BL出版社

深い森にやってきた4人組。何やら、鳥をつかまえるためのひみつの作戦があるみたいです。

「ゆっくり、ゆ〜っくり、そっと、そ〜っと…」「いち、にの、さん…いまだ!!」繰り返しの展開で、思わずクスッと笑えて

きてしまう、かわいらしい4人組のおかしなお話。美しい色使いのイラストも魅力の絵本です

表紙

私と図書館

(六〇代 男性)

私と図書館の付き合いは、小学校から中学校まで読書クラブに属し、図書館で読書に明け暮れた数年間が最初です。社会人になって退職するまで四十年間は出かけたことはありません。けれども、読書は生活の一部に組み込まれていたので、読む本はネットと本屋から購入しました。

ところが、定年退職し、年金暮らしになってからは、経済的負担を軽減する為に「図書館に行こう」と決意し、再び図書館に通い始め八年が経ちました。

図書館通いのメリットは、第一にお金がかかりません。本代はもろろん新聞も数紙あるもので、それらを読めばいいのです。第二に家の中に蔵書が増えました。家人の苦情が絶えませんでした。第三に読む本のジャンルが増えて読書意欲が向上しました。第四に医者通いで待たされても、読書で空虚な時間を克服できます。このように列挙すれば良いことがたくさんあります。これからも今まで以上に心を奮いたたせ「図書館に行こう」と考えています。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-5796 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※

新年あけましておめでございませう。

昨年、姜尚中さんの講演会「読書が深める心」においては「読む」ということは、作者を受け継ぐこと。読書は、魂の相続なんです」という言葉に感銘を受けました。

新しい年を迎え、作者の魂に出会い、受け継ぎ、語り継いでいきたいと思つたのです。

